

厳し美しい里 だより

令和2年12月1日発行 第21号



発行者：厳し美しい里協議会
(会長 小岩次男)

(事務局)

〒021-0101

一関市厳美町字沖野々116-6

一関市厳美市民センター内 鈴木

TEL29-2205 FAX29-2251

Genbicc.jp



厳し美しい里フェスティバル 開催しました



今年度の厳美地区民文化祭は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため舞台発表が中止となり、地域の皆さんが楽しみにされていた例年通りの文化祭ではなくなりましたが、「厳し美しい里フェスティバル」を通して、ハーバリウムや革細工など手作りの楽しさを体験するとともに、左官職人の技法を用いた光る泥だんご作りや、和太鼓職人が考案したダンボール和だんご作りなど、日本の伝統的な技術に触れる機会にもなりました。多くの方々に参加いただき、秋晴れのもと厳美市民センターが笑顔であふれた一日となりました。ご協力いただいた皆様、ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

～厳し美しい里フェスティバル 写真館～



しっくい乾いたらせっせと磨いて光らせます
職人さん曰く、フリースで磨くと良く光る、とのこと



及川左官さんの指導のもと、高校生も
光る泥だんご作りに夢中



漆喰プレートに使用したガラス玉は、今回のために
サハラガラスパーク様に特別に作っていただいた
ものです



光る泥だんご作りと漆喰プレート作りの両方を体験
してもらいました



難しいところは大人に手伝ってもらいながら一緒に楽しく作るをコンセプトに、小山太鼓さんが考案された段ボール和だいこ



出来上がりを楽しみに、和だいこ作りに挑戦中



自分好みの革を選んで、コインケース作り



細かい作業に全集中して、ボールペンやフォトスタンドを作り上げました



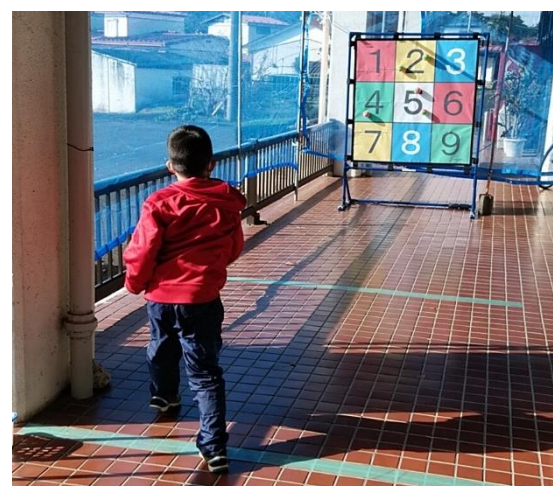
手作りの雑貨がずらりと並べられて大にぎわいのVens club 一関さんの販売コーナー
こどもの靴選びも人気でした



今年も大好評の手作り菓子や野菜の販売コーナー



森林組合さんからお借りした熊のはく製と、熊がかじって壊した真湯遊歩道のベンチと一緒に展示



子どもたちに大人気のターゲットゲームとお魚釣りゲーム